



# がれき、ごみ片付けに汗

## 八戸大と八戸短大 市内の公園2カ所で

八戸大学野球部、サッカー部員と八戸短期大学の学生計40人が31日、津波の被害に遭った八戸市沿岸部の公園2カ所で清掃ボランティアを行い、がれきの撤去などに汗を流した。

八戸大3年で野球部の石橋拓馬さん(三)

この日は、午前9時半ごろに同市沼館4丁目の沼館緑地公園で活動を開始。波で流されたテーブルを元の位置に運んだり、折れた木の枝や漂流物などを拾い集めた。その後、同市河原木北沼の北沼運動公園に移動し、大型津波被害に遭った公園で清掃活動に汗を流す学生たち

は、福島県双葉郡浪江町の実家が福島第一原発事故で避難指示の範囲内になり、家族は新潟に避難しているという。「いつ実家に戻れるようになるか分からなく心配だが、八戸も同じ被災地だ。今はここでできることをしたい」と懸命に作業していた。